

しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons ①9 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。11月13、14日に千葉幕張の医療薬学会に参加してきました。今回は13日に「カンボジア医療支援報告」のポスター発表を、14日に「現場薬剤師からみる薬剤師国家試験」のポスター発表をしてきました。医学部の学会では、形に残るということで、口頭発表よりポスター発表の方が人気です。薬学部はどうでしょうか。

カンボジアでは、ホテルの水と水道水、子どもたちが使う井戸水の検査をしました。一緒にカンボジアへ連れて行きました衛生担当の藤田講師が水を採取し、その後しっかりと除菌せず、お昼御飯をとったことが原因で食中毒に……。水道水、井戸水ともに日本に持ち帰ってから検査すると大腸菌を検出! 藤田が身をもって現地で教えてくれました。不衛生薬学講師です(笑)。

カンボジア医療支援報告もたくさんの方に興味を持っていただきましたが、現場薬剤師からみる国家試験の方がよりたくさんの方に興味を持っていただいたようです。現場の病院薬剤師と薬局薬剤師に国家試験薬剤師業務の範囲30問を解いていただき、メディセレスクール生との正答率を比較し、分析した論文です。臨床試験の問題などは学生よりも現場薬剤師の正答率が低かったり(苦笑)、また、病院薬剤師の正答率が高く、薬局薬剤師の正答率が低いという問題があったり、逆もあつたりと、なかなか面白い結果になりました。中には今受けたら、不合格になっちゃうという結果の先生も(笑)。

6年制薬学部の1期生(5回生)が実習で現場に出てきました。現場の先生たちも今の学生がどんな勉強をしているのか、国家試験ではどんなことが問われるのか興味津々です。メディセレでも現場の先生たちから参考書が欲しいという問い合わせが増えてきました。論文は大学の先生だけでなく、現場の先生たちも、ニヤニヤしながら自分の実力を試してみたいけど、不合格の点数だったらへこむよね~。と楽しそうに見ていただきました。

メディセリアンの子たちも見に来てくれたり、「アルフレッサコラム見えています」という人も見に来てくださりと、学会にいくとたくさんの方にお会いできてうれしかったです。知識との出会いと、人との出会い。みなさん、学会に行きましょう!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子